

# エコアクション21 環境経営レポート

令和4年4月～令和5年3月



マツダオートザム北部(本店)



車のガレリア名護店

第9版

発行日：令和5年5月10日

株式会社 北部自動車工業

## 目次

	ページ
1・事業の概要	1
2・環境経営方針	2
3・実施体制	3
4・環境経営目標 環境経営実績	5
5・環境経営計画	6
6・環境経営計画の取組結果とその評価	7
7・次年度の計画	8
8・関連法規	10
9・代表者による評価と見直し	11



■事業所名

株式会社 北部自動車工業 (マツダオートザム北部)

■代表者名

代表取締役：大兼久 康史

■所在地

【本社】〒905-0006 沖縄県名護市宇茂佐1607番地  
 【車のガレリア名護店】〒905-0005 沖縄県名護市為又525-1

■環境管理責任者及び担当者連絡先

【環境管理責任者】本社：仲原 俊（工場統括者）  
 車のガレリア名護店：平良 善隆（工場長）  
 【EA21担当者】花城 恵美（保険・総務） E-mail：hanashiro@hkb-jk.jp  
 TEL：0980-52-0393 FAX：0980-52-6860

■事業活動内容

新車・各種中古車の販売  
 自動車整備（新車・中古車販売・自動車整備・車検・損害保険代理業）  
 損害保険代理店

■許可番号

認証番号第62号 昭和44年9月1日  
 指定番号第23号 昭和49年7月20日  
 古物商許可証第971098900123号 平成1年9月16日取得

■事業の規模

【法人設立】昭和48年  
 【資本金】2,000万円  
 【売上高】480百万円（令和4年度）  
 【従業員数】30人（本社：21人、車のガレリア名護店：9人）  
 【事業所の床面積】本社（974.55㎡）、車のガレリア名護店（1,432.4㎡）

■車両保有台数

キャリアカー	2台
ロードサービス車	1台
代車	53台
試乗車	15台



■認証・登録の範囲

本社（沖縄県名護市宇茂佐1607番地）  
 車のガレリア名護店（沖縄県名護市為又525-1）

全活動

## 2.環境経営方針

### < 環境理念 >

後世に、豊かな自然環境を残していくのは、現在を生活しているわたくしたちの使命と考えます。

持続可能な事業活動を考えた場合、環境問題は避けられない大きな課題です。そうしたなかで、エコアクション21の理念に基づき環境に配慮した取組を行い、関係する法規の遵守を全社員が徹底することによって環境活動を推進していくとともに環境経営の継続的改善を実施します。

### < 行動指針 >

1. 具体的な行動計画として下記の取組を実施し、環境負荷を常に意識した健全な事業活動を行います。

- ① 6S活動を取り組むことによって、総合的な環境負荷の低減を図る。
- ② 電力使用量削減や社用車の燃料費削減による省エネルギーの定着化。
- ③ 総排水量削減を意識し、洗車等の地下水使用量削減する工夫を図る。
- ④ 産業廃棄物、事務所ごみの分別によってリサイクル活動に寄与する。
- ⑤ お客様へ、積極的に再生部品やエコ整備のご提案を行う。
- ⑥ 事業に必要な油脂類や化学物質の適切な管理。

2. 環境関連法規等を遵守する。

3. 環境理念・行動指針は全従業員に周知徹底します。

制定日

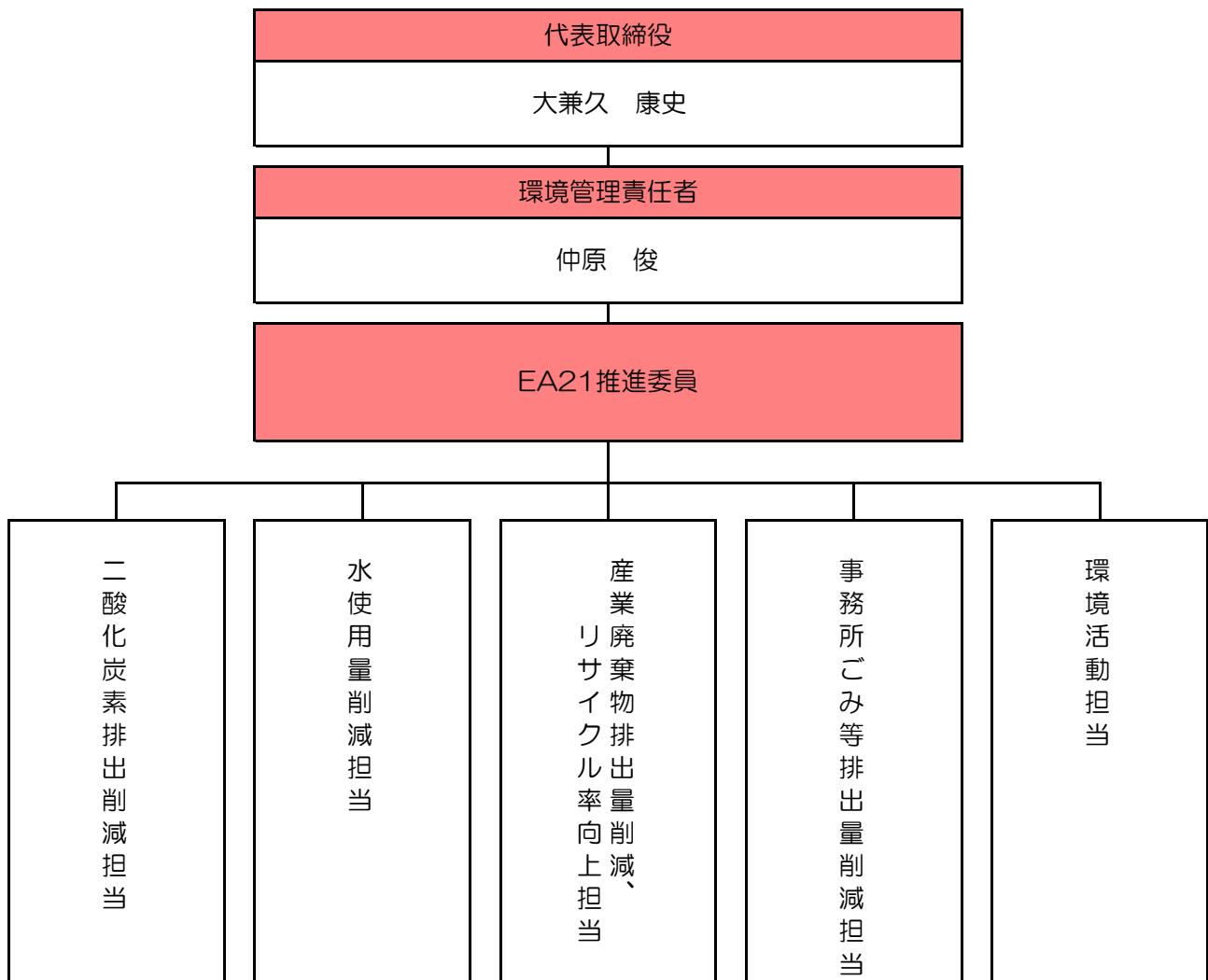
平成26年3月1日

改定日

令和3年3月1日

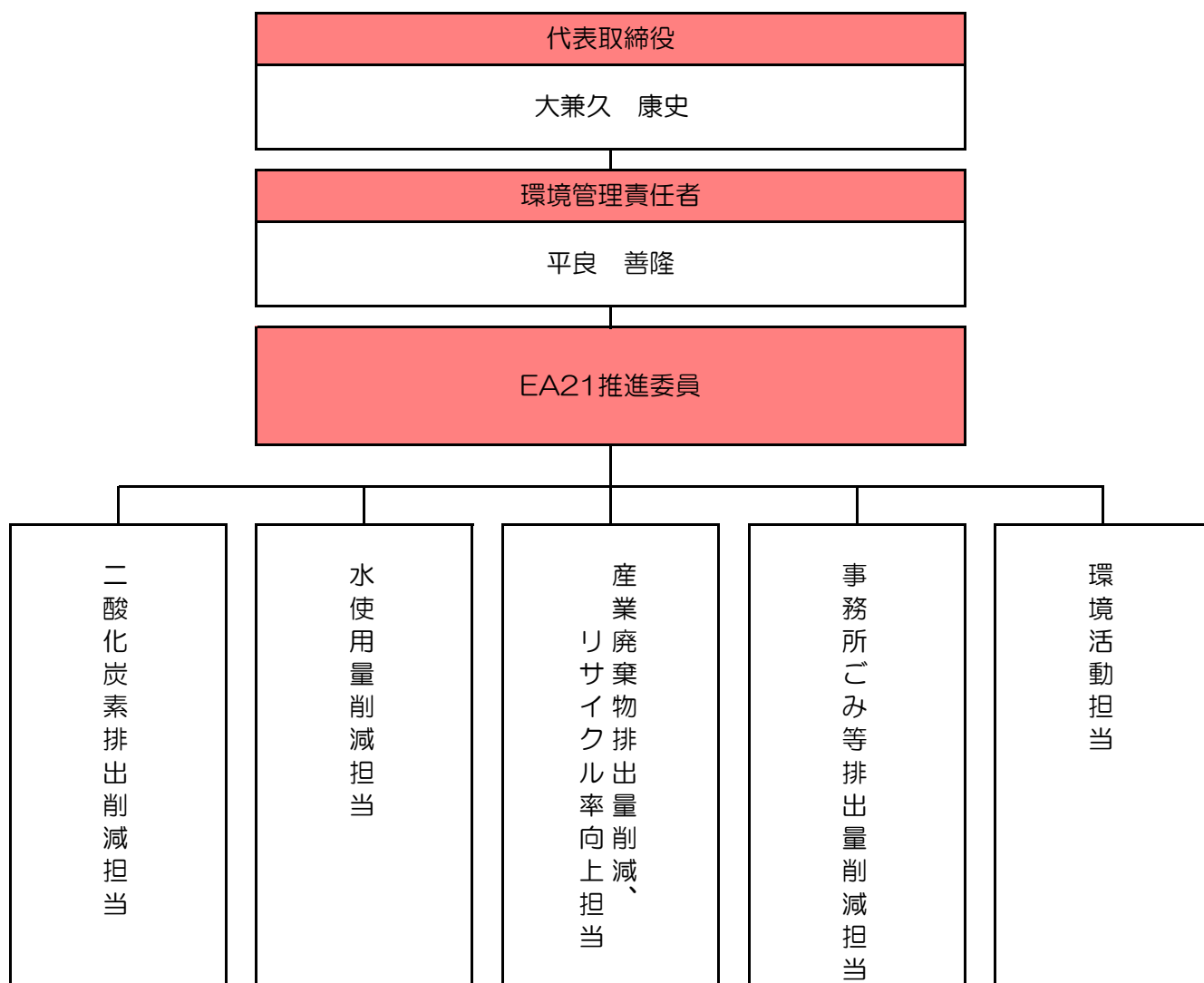
株式会社 北部自動車工業  
代表取締役社長 大兼久 康史

### 3.エコアクション21実施体制図（本社）



代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の任命</li> <li>環境経営における課題とチャンスの明確化</li> <li>環境方針の制定</li> <li>環境システムに必要な資源の準備</li> <li>環境システムの定期的見直しの実施</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境システムの実績報告</li> <li>環境システムの確立、実施及び維持する為の処置</li> <li>環境システムの教育・訓練計画、実施責任者</li> </ul>
EA21推進委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者を補佐し、全員参加による環境活動の運用と改善を推進する</li> <li>各担当者からの報告・意見をとりまとめる</li> <li>環境システムの運用上の文書作成、保管、伝達</li> </ul>
各担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容が適切に行われているか把握し、EA21推進委員に報告する。</li> <li>取組内容について意見や要望をとりまとめEA21推進委員に報告する。</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する</li> </ul>

### 3.エコアクション21 実施体制図（車のガレリア）



代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の任命</li> <li>環境経営における課題とチャンスの明確化</li> <li>環境方針の制定</li> <li>環境システムに必要な資源の準備</li> <li>環境システムの定期的見直しの実施</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境システムの実績報告</li> <li>環境システムの確立、実施及び維持する為の処置</li> <li>環境システムの教育・訓練計画、実施責任者</li> </ul>
EA21推進委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者を補佐し、全員参加による環境活動の運用と改善を推進する</li> <li>各担当者からの報告・意見をとりまとめる</li> <li>環境システムの運用上の文書作成、保管、伝達</li> </ul>
各担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容が適切に行われているか把握し、EA21推進委員に報告する。</li> <li>取組内容について意見や要望をとりまとめEA21推進委員に報告する。</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する</li> </ul>

## 4.環境経営目標・環境経営実績

### 【環境経営目標】

- ※ 事業年度：4月～3月
- ※ 基準年度は、平成29年度とし、削減目標はそれぞれの項目毎に設定した。
- ※ 二酸化炭素排出量削減目標は、二酸化炭素排出量を売上高で割った数字とする。
- ※ 排出係数は、沖縄電力(株)平成28年度実排出係数0.799kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用している。
- ※ 化学物質の取り扱いはありません。

環 境 目 標	単 位	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
		(基準値)	(削減率)	(削減率)	(削減率)	(削減率)	(削減率)
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	337.87	334.49 -1%	331.14 -1%	327.83 -1%	324.55 -1%	321.31 -1%
一般廃棄物排出量	t	2.87	2.84 -1%	2.81 -1%	2.78 -1%	2.76 -1%	2.73 -1%
産業廃棄物排出量	t	24.89	24.64 -1%	24.39 -1%	24.15 -1%	23.91 -1%	23.67 -1%
水資源投入量	m <sup>3</sup>	2,765	2,737 -1%	2,710 -1%	2,683 -1%	2,656 -1%	2,629 -1%
工 コ 力 - 整 備	件	3540	3,545 +5	3,550 +5	3,555 +5	3,560 +5	3,565 +5
社 会 貢 献 活 動	・月に一度、工場内外の美化活動を実施する。						

(基準値算出)

二酸化炭素排出量 157,445.97kgCO<sub>2</sub>/466百万円=337.87kg-CO<sub>2</sub>/百万円

### 環境経営実績

実 績 項 目	単 位	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
		H30.4~H31.3	H31.4~R2.3	R2.4~R3.3	R3.4~R4.3	R4.4~R5.3
売 上 高	百万円	461	438	449	412	480
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	98,495.40	87,023.71	85,698.91	97,941.23	112,455.08
	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	213.66	198.68	190.87	237.72	234.28
一 般 廃 棄 物	t	2.20	1.64	2.96	2.40	2.20
産 業 廃 棄 物		16.83	17.33	20.73	19.37	34.07
水 資 源 投 入 量	m <sup>3</sup>	774	13,099	19,790	27,690	36,094
工 コ 力 - 整 備	件	5,993	5,573	5,893	5,995	6,263
社 会 貢 献 活 動	・月に一度、工場内外の美化活動を実施した。					

### 目標に対する評価

	削減/増減率	評 価	要 因
二酸化炭素排出量	-46%	目標達成	こまめな節電により使用量減少
一 般 廃 棄 物	-56%	目標達成	ペットボトル、缶のリサイクルの徹底
産 業 廃 棄 物	44%	目標未達成	車検単価UPによる交換部品の増加
水 資 源 投 入 量	12.7%	目標未達成	手洗い洗車の入庫台数増加、洗車機需要量の増加
工 コ 力 - 整 備	75%	目標達成	入庫台数の増加
社 会 貢 献 活 動		目標達成	月に一度、工場内外の美化活動を実施した。

## 5. 環境経営計画（本社・車のガレリア名護店）

環境経営計画の内容は以下のとおりです。

項目		活動内容	スケジュール
二酸化炭素削減	電気	1、節電（使用しない部屋・工場の照明はこまめに消す） 2、電気機器（パソコン、ファクス、プリンター等）は、省エネモードに設定。 4、夏場のエアコンの温度±2.6℃とし、暖房は使用しない。 5、エアコンフィルターを定期的に清掃する。 6、残業時間の短縮化による節電や、ワークライフバランスの推進	通年
	燃料	1、車を使用前に日常点検をする 2、予め目的地までの最短ルートを計画たてて、無駄な走行はしない。 3、車両整備（法定点検）を確実に実地する。 4、省エネ運転（エコドライブ）講習会を開催 ◎ 急発進、急ブレーキ、急加速の禁止 アイドリングストップ使用	通年
廃棄物の削減	産業廃棄物	1、廃油、廃タイヤ、廃バッテリー、廃板金部品などの分別の徹底。 2、自動車リサイクル部品（中古部品）使用の推進。 3、再利用などを意識し、排出量を削減するように努力する。 4、産業廃棄物排出時の manifests の保管と管理。	通年
	事務所ゴミ	1、ゴミの分別を徹底する。 2、再利用できる物のリサイクル意識の共有 3、紙の使用を少なくするために、プリンターなど電子機器を活用 4、トナー等は業者に引き取ってもらう。	通年
水使用量削減		1、朝礼、終礼などで、全員の節水意識を高める。 2、洗車時の水の出っぱなしを禁止と洗車時間短縮化による節水。 3、トイレ使用後の流水の節約（タンクの中にペットボトルを入れる） 4、水道配管のチェック、メンテナンス。	通年
環境配慮の製品及びサービス		1、エコカー整備、エコカーへ切り替えるように努める。	通年
社会貢献活動		1、社内の6S（整理・整頓・清掃・清潔・躰・全てヨールム）に力を入れる。 2、地域活動・全社員を巻き込んだ定期的な会社周辺の清掃を実地する。	通年



## 6. 環境経営計画の取組結果とその評価

### 《環境経営計画の取組結果とその評価》

項目		活動内容	目標達成状況		実施状況と評価
二酸化炭素削減	電気	1、節電（使用しない部屋・工場の照明はこまめに消す） 2、電気機器（パソコン、ファクスプリンター等）は、省エネモードに設定。 4、夏場のエアコンの温度±2.6℃とし、暖房は使用しない。 5、エアコンフィルターを定期的に清掃する。 6、残業時間の短縮化による節電や、ワークライフバランスの推進	-46% 目標達成	○	全社員が継続して自主的に節電に取り組みました。今年度は暖房を使用しましたが、次年度以降も空調を必要な区域や時間に限定して使用します。
	燃料	1、車を使用前に日常点検をする 2、予め目的地までの最短ルートを計画して、無駄な走行はしない。 3、車両整備（法定点検）を確実に実施する。 4、省エネ運転（エコドライブ）講習会を開催  ◎ 急発進、急ブレーキ、急加速の禁止、アイドリングストップの実施		○	
廃棄物の削減	産業廃棄物	1、廃油、廃タイヤ、廃バッテリー、廃板金部品などの分別の徹底。 2、自動車リサイクル部品（中古部品）使用の推進。 3、再利用などを意識し、排出量を削減するように努力する。 4、産業廃棄物排出時の manifests の保管と管理。	44%up 目標未達成	○ △ ○ ◎	車検単価UPによる交換部品の増加により排出量は増えましたが、廃棄物の再分別に努めました。
	事務所ゴミ	1、ゴミの分別を徹底する。 2、再利用できる物のリサイクル意識の共有 3、紙の使用を少なくするために、プリンターなど電子機器を活用 4、トナー等は業者に引き取ってもらう。	-56% 目標達成	○ ○ △ ○	ゴミの分別を徹底しました。ペーパーレス化はまだ取組の余地があります。電子機器を活用して使用量削減を強化します。
水量削減	1、朝礼、終礼などで、全員の節水意識を高める。 2、洗車時の水の出っぱなしを禁止と洗車時間短縮化による節水。 3、トイレ使用後の流水の節約（タンクの中にペットボトルを入れる） 4、水道配管のチェック、メンテナンス。	12.7%up 目標未達成	○ ○ ◎ ○	全従業員節水に努めましたが、洗車台数が大幅に増えた為、水使用量も増加しました。引き続き朝礼や終礼などで節水を呼びかけます。	
環境配慮の製品及びサービス	1、エコカー整備、エコカーへ切り替えるように努める。	75%up 目標達成	○	エコカー整備、エコカーへの切り替えを推進しました。	
社会貢献活動	1、社内の6S（整理・整頓・清掃・清潔・躰・全てヨルム）に力を入れる。 2、地域活動・全社員を巻き込んだ定期的な会社周辺の清掃を実施する。	目標達成状況	○ ○	社内6Sに取り組みました。月に一度、工場内外の美化活動を実施しました。	

## 7. 次年度の計画

### 【①環境経営目標】

- ※ 事業年度：4月～3月
- ※ 基準年度は、令和4年度とし、削減目標はそれぞれの項目毎に設定した。
- ※ 二酸化炭素排出量削減目標は、二酸化炭素排出量を売上高で割った数字とする。
- ※ 排出係数は、(株)沖縄ガスニューパワー令和3年度調整後排出係数0.325kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用している。
- ※ 化学物質の取り扱いはありません。

環 境 目 標	単 位	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		(基準値)	(削減率)	(削減率)	(削減率)	(削減率)
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	141.14	139.72 -1%	138.31 -1%	136.90 -1%	135.49 -1%
一般廃棄物排出量	t	2.20	2.18 -1%	2.16 -1%	2.13 -1%	2.11 -1%
産業廃棄物排出量	t	34.07	33.73 -1%	33.39 -1%	33.06 -1%	32.73 -1%
水資源投入量	m <sup>3</sup>	36,094	35,733 -1%	35,376 -1%	35,022 -1%	34,672 -1%
工 コ カ ー 整 備	件	6,263	6,268 +5	6,273 +5	6,278 +5	6,283 +5
社 会 貢 献 活 動	・月に一度、工場内外の美化活動を実施する。					

(基準値算出)

二酸化炭素排出量  $67,748.35\text{kgCO}_2 / 480\text{百万円} = 141.14\text{kg-CO}_2 / \text{百万円}$

## 【②環境経営計画】



次年度の環境経営計画は、以下の通りです。

基本的にこれまでの取組をSDGs（17のゴール）と紐付けて取り組みます。

項目		SDGs項目	活動内容	本店	ガレリア支店
二酸化炭素削減	電気	 	1、節電（使用しない部屋・工場の照明はこまめに消す） 2、電気機器（パソコン、ファクス、プリンター等）は、省エネモードに設定。 4、夏場のITツの温度±26℃とし、暖房は必要に応じて使用する。 5、エアコンフィルターを定期的に清掃する。 6、残業時間の短縮化による節電や、ワークライフバランスの推進	各担当者	各担当者
	燃料	 	1、車を使用前に日常点検をする 2、予め目的地までの最短ルートを計画たてて、無駄な走行はしない。 3、車両整備（法定点検）を確実に実地する。 4、省エネ運転（エコドライブ）講習会を開催 ◎ 急発進、急ブレーキ、急加速の禁止 アイドリングストップ使用		
廃棄物の削減	産業廃棄物	 	1、廃油、廃タイヤ、廃バッテリー、廃板金部品などの分別の徹底。 2、自動車リサイクル部品（中古部品）使用の推進。 3、再利用などを意識し、排出量を削減するように努力する。 4、産業廃棄物排出時の manifests の保管と管理。	各担当者	各担当者
	事務所ゴミ	  	1、ゴミの分別を徹底する。 2、再利用できる物のリサイクル意識の共有 3、紙の使用を少なくするために、プリンターなど電子機器を活用 4、トナー等は業者に引き取ってもらう。		
水量削減		 	1、朝礼、終礼などで、全員の節水意識を高める。 2、洗車時の水の出しっぱなしを禁止と洗車時間短縮化による節水。 3、水道配管のチェック、メンテナンス。	各担当者	各担当者
環境配慮の製品及びサービス		 	1、エコカー整備、エコカーへ切り替えるように努める。	各担当者	各担当者
社会貢献活動		 	1、社内の6S（整理・整頓・清掃・清潔・躰・全てヨールム）に力を入れる。 2、地域活動・全社員を巻き込んだ定期的な会社周辺の清掃を実地する。		

## 8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

### 1. 当社に適用となる環境関連法規一覧と遵守状況

主な適用法規	遵守すべき項目	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の適正処理 マニフェストの発行・保存 マニフェスト交付等状況報告書の行政への報告	遵守
フロン排出抑制法	冷媒用フロンの回収、破壊措置 委託確認書、引渡証明書の受理と写しの保管 業務用エアコンの簡易点検の実施	遵守
消防法	消火器の設置・火災の予防 危険物の保管・管理	遵守
使用済自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	リサイクル料金の支払い、自治体に登録された取引業者への廃車引渡し	遵守
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR法)	対象化学物質の排出量及び移動量の届出	遵守
騒音規制法	コンプレッサー定格出力7.5kw以上は届出	遵守
労働安全衛生法	有機溶剤適正使用・管理	遵守
<p>・ 令和5年5月10日に遵守状況の確認を行った。</p> <p>確認者 (花城 恵美)</p>		

### 2. 環境関連法規制の違反、訴訟等の有無

- ・ 環境関連法規等の遵守状況の評価を行った結果、環境関連法規制の逸脱はありません。
- ・ 法的違反や訴訟、苦情等については過去3年間ありません。

## 9. 代表者による評価と見直し

### 【環境経営方針変更の有無】

環境経営方針の変更はありません。

### 【環境経営目標の変更の有無】

環境目標の変更はありません。

### 【環境経営計画変更の有無】

環境経営計画の一部を変更しました。

項目	旧活動内容	変更後の活動内容
二酸化炭素削減 電気	4、夏場のIPOPの温度±26℃とし、暖房は使用しない。	4、夏場のIPOPの温度±26℃とし、暖房は必要に応じて使用する。
水量削減	3、トイレ使用後の流水の節約	既に取り組んでいる為削除しました。

### 【実施体制の変更の有無】

実施体制の変更はありません。

### 【総括】

弊社では、会社経営に関するテーマや課題を会社全体としての共通目標として設定し、その目標を本店では、3チームに分け年間経営計画を立てて、そのチームが主体となって改善していく体制にしており担当する社員がより身近に自社の課題や改善すべき事柄に気付くことが出来る様になっております。EA21も環境経営として、担当するチームが主体となり活動を行うことで、コスト削減に貢献し、全社一丸となった経営に関する改善取り組みを行っております。

今年度の取り組みとして、電力使用量は全社員が継続して自主的に節電に取り組みましたが、本店においてはコロナ禍により換気しながらエアコンの使用をしたことと、お客様への快適さを求め暖房を使用しました。また、ガレリア支店は車検・整備入庫台数の増加により電気使用量が増加しました。全社取り組みとして年間休日数増や残業時間の短縮化により節電に努めています。燃料においては、ロードサービス増加による軽油使用量も増えましたが、これまで通り無駄な走行はしない、エコドライブに取り組みました。

水使用量は手洗い洗車台数と洗車機需要増加により増えましたが、環境経営計画に沿って全従業員で節水を意識して取り組みました。

産業廃棄物は、車検単価UPによる交換部品の増加により増えましたが廃棄物の細分別化に努めています。

事務所ごみは大幅に削減できたので、引き続き細分別化に努めて欲しい。

エコカー整備と、エコカーの販売促進に関しては、とても評価しています。

全社的にEA21を通じて、コスト意識が醸成出来つつあり、結果として担当チームを軸に処遇改善に繋がる事を考えるようになってきたと思います。

次年度も引き続き社会の重要なインフラを支える企業として、社員一丸となって環境経営活動に取り組み、クリーンなまちづくりに貢献して参ります。

令和5年5月10日

株式会社 北部自動車工業  
代表取締役社長 大兼久 康史